

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	神戸市の自然や生きものへの意識調査
調査期間	2024年12月2日（月曜）～12月15日（日曜）
設問数	全8問（分岐設問除く）
対象モニター数	10,026名
回答モニター数	4,248名（42.4%）

【調査結果概要】

現在、神戸市では2016年3月に策定した「生物多様性神戸プラン」の改定を進めており、市民の皆様にとってより分かりやすく、今後の行動の指針となる計画を目指しています。そのため、皆様の生物多様性に対する率直なご意見を集めるためにアンケートを実施しました。

- ・「生物多様性」の認知度は70.1%、「外来生物」は85.7%と高い一方、「ネイチャーポジティブ」や「生態系サービス」の認知度は30%未満と低いことがわかりました。また、生物多様性の減少原因について、人間の開発活動や外来種の持ち込み、気候の影響によるものであることを知っている方が65%以上に対して、「人間の手が入らなくなったことで、それまでにあった環境が変わり、生きものがすめなくなっている」ことを知っている方は47.6%でした。このことから、人間が関与しなくなったことによる環境変化が与える影響についての認知度が低いことがわかりました。
- ・生態系や人、農作物に被害をもたらす外来生物の駆除については、95%以上の方が駆除は止むを得ないと感じていることがわかりました。
- ・保全活動への参加については、79.7%の方が生きものや自然環境の保全活動に参加したことがなく、参加には交通手段やトイレなどのハード面と、活動費用や専門家の指導などのソフト面でのサポートが必要という回答が多くありました。
- ・自然体験については、自然の中で「身体を動かして遊ぶ（58.1%）」や、「精神的・身体的な安らぎを得る（66.9%）」を大切に思う方が多かったほか、自然のめぐみ（自然から得られる恩恵や資源など）については食料や水、空気などの人間の身体に直接必要なものを重視する傾向が見られました。
- ・自由意見では、広報の必要性や地域・学校との協働など、多くの方に参加してもらうためのアイデアが寄せられました。また、外来種防除活動や保全活動を広げるために、インセンティブの提供や、外来種と共存するための知識を学ぶ機会が必要という意見もありました。

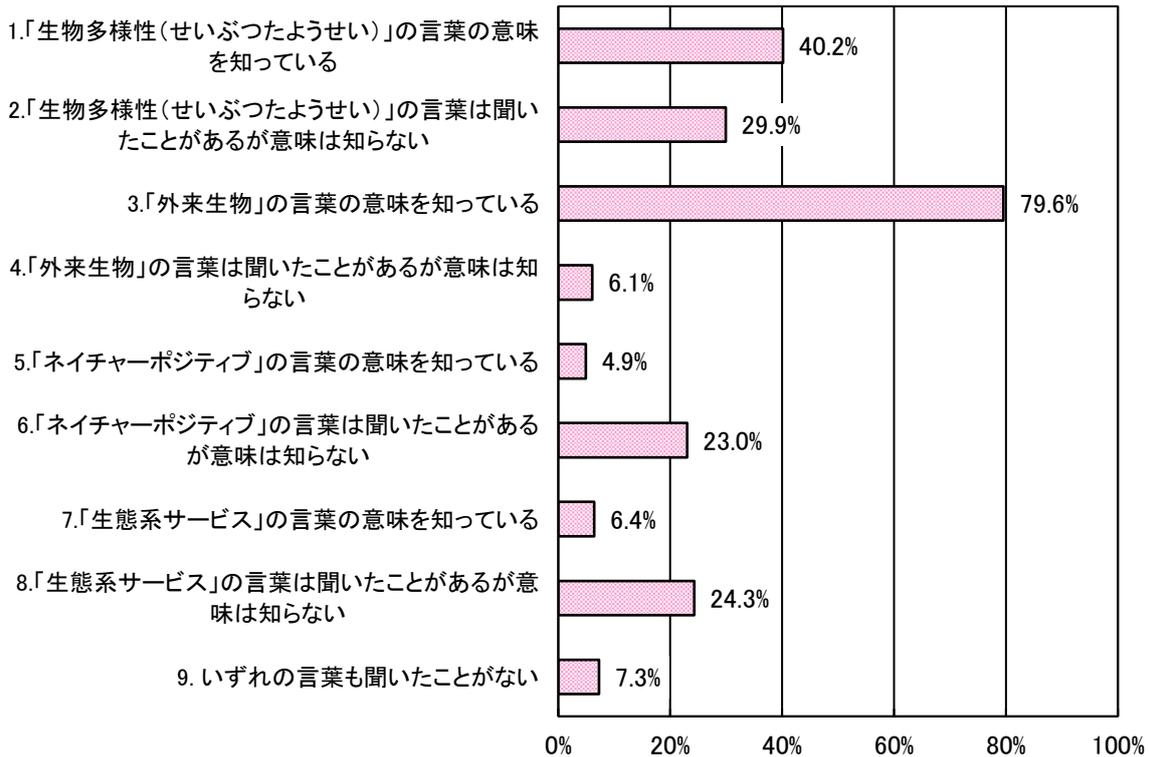
【総評】

生きものや自然環境の知識や認知度は高いものの、外来種防除活動や保全活動への参加率は20%程度に留まっています。幅広い知識や高い認知度が必ずしも行動に繋がらないという結果が得られました。また、「活動があることを知らなかった」、「広報に力を入れてほしい」という意見があり、まずは市や企業、市民団体が主催する活動を知ってもらう必要があることがわかりました。

生物多様性の保全や再生はすぐに効果があらわれるものではなく、長期的な取り組みが必要です。取り組みを持続可能なものとするためには行政だけでなく、市民の皆様や企業など様々な主体との協働の取り組みが重要となります。今回いただいたご意見を踏まえ、保全活動等へのハードルを取り除き、気軽に参加できる環境を整えるとともに、学校や地域などと連携して情報を発信し、より多くの方の行動につながる計画や行動指針を盛り込んだ「生物多様性神戸プラン」を策定していきます。

問1 あなたは次の言葉を知っていますか。

N=4248



(参考)

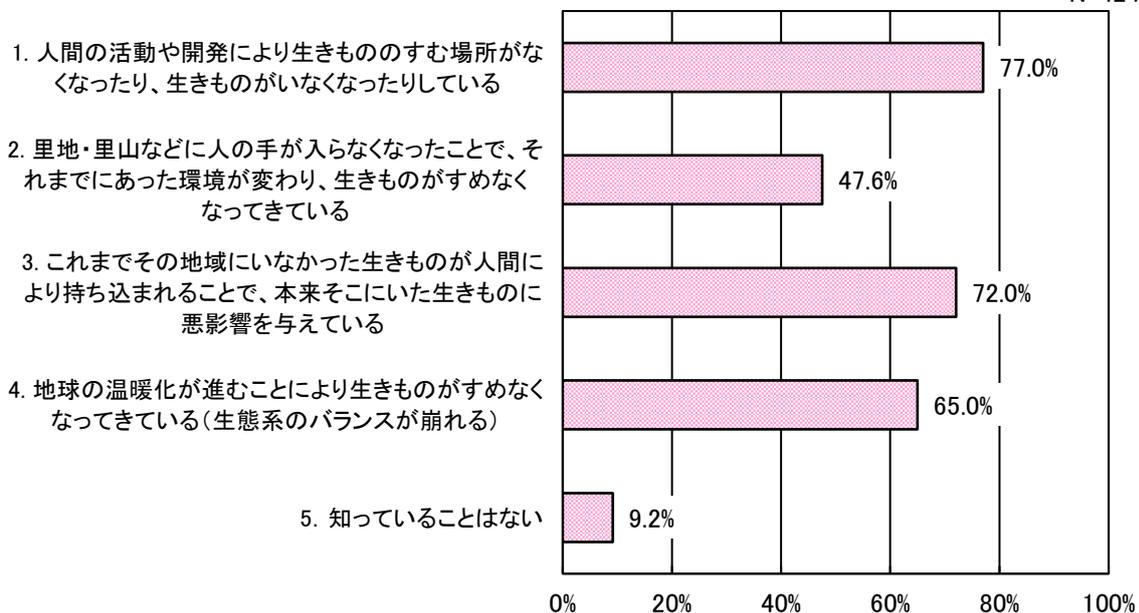
※生物多様性：森や草原、水田、川、海などいろいろな自然の中で、多くの種類の生きものがお互いにつながりをもちながら暮らしていること

※ネイチャーポジティブ：自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。これを2030年までに達成することが世界目標として明文化されている

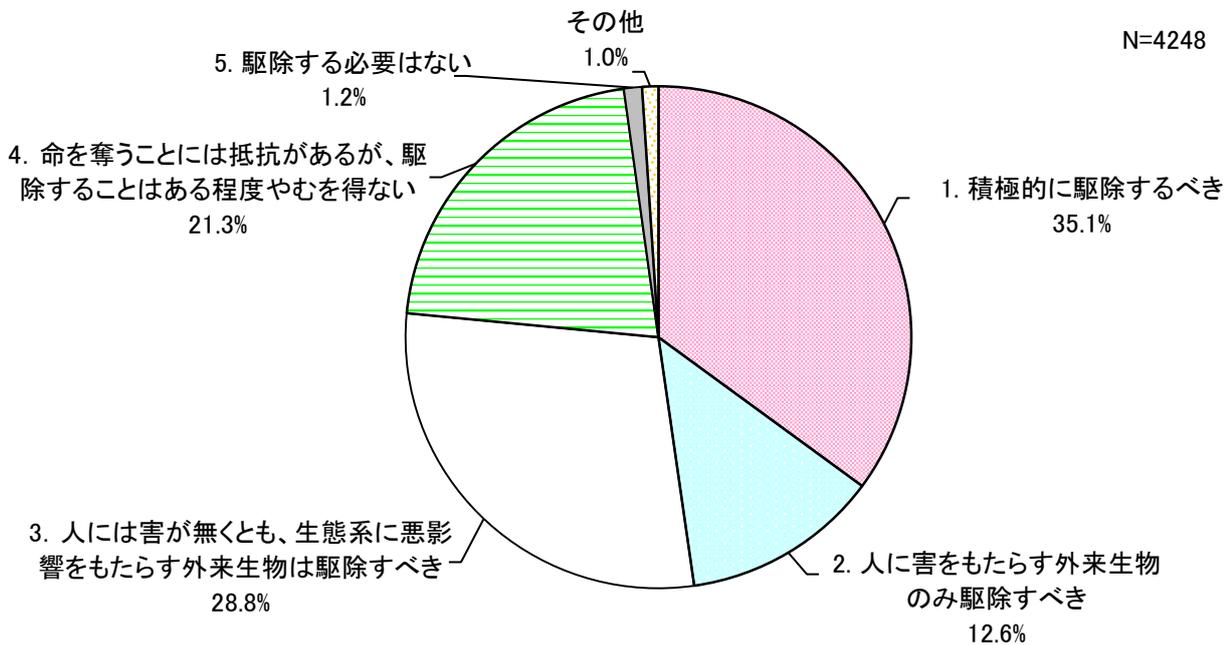
※生態系サービス：生物多様性を基盤とする生態系から得られる、食料や水の供給、気候の安定などの自然のめぐみのこと

問2 生物多様性の減少原因とされていることについて、知っていることを教えてください。

N=4248



問3 神戸市は外来生物の駆除に取り組んでいます。生態系や人、農作物に被害をもたらす外来生物などを駆除することについてどう思いますか。



(参考) 外来種とは？

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/kurashi/recycle/biodiversity/gairaiseibutu.html>

その他

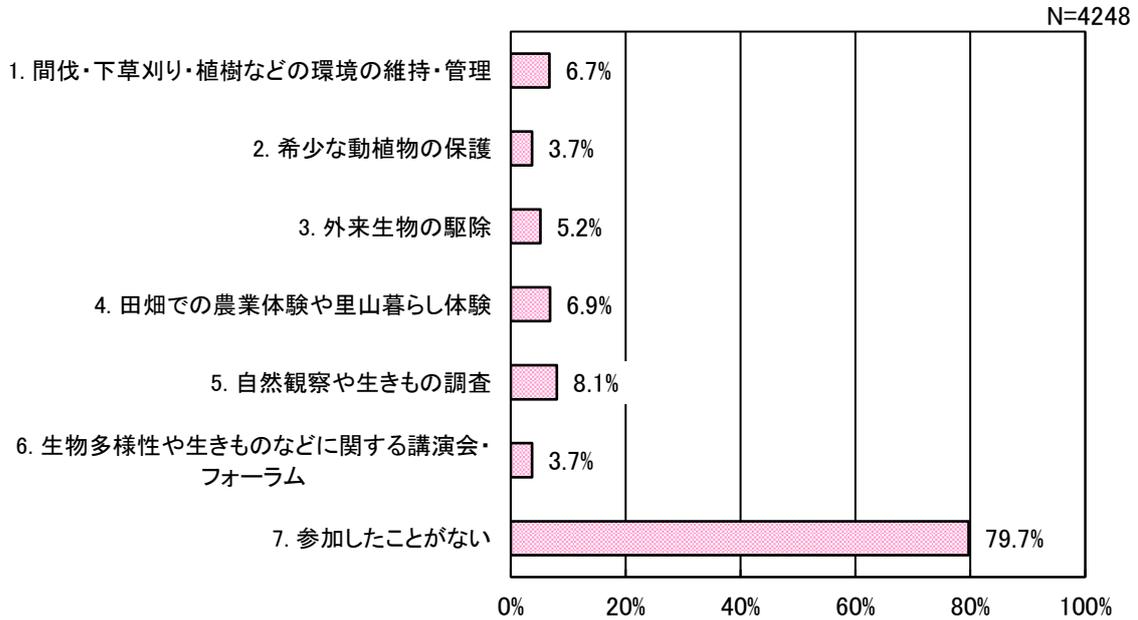
積極的に駆除すべき:

- ・積極的に駆除すべきかつ、有効利用できればより良いのになぁと思っています。
- ・生態系に悪影響があるなら駆除も必要だと思いますが、できれば駆除以外の最善の方法はないのか探る必要があると思います。

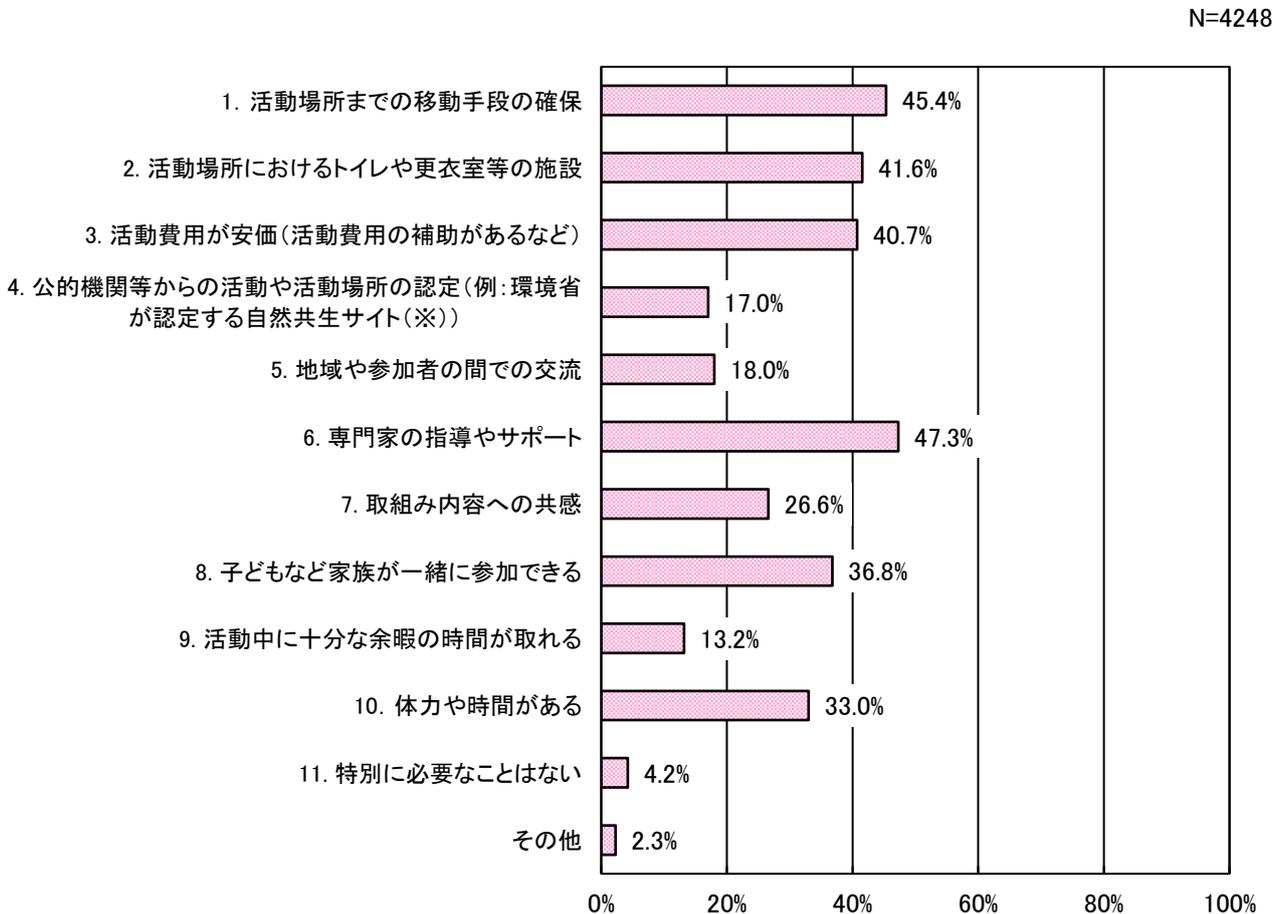
駆除に対する抵抗:

- ・命を奪うことに抵抗があります。元は人間が持ち込んだ命です。駆除以外にできる方法がないか、自治体、企業、教育機関、市民が協力して探していけないかと思います。
- ・外来種も連れてこられた可愛そうな動物。駆除指定にするとやりたい放題になる。駆除が必要か慎重に考えることが必要と考えます。また、どうしても駆除するなら苦しめない補殺方法を定めることが望ましいと思います。知人が叩き殺した例がありますが、ひどいと感じました。

問4 神戸市や市民団体などが企画・募集する、生きものや自然環境を対象にした保全活動またはイベントなどに参加したことがありますか。



問5 生きものや自然環境を対象にした保全活動を実施（参加）するにあたり、特に何が必要と思いますか。



※ 自然共生サイト

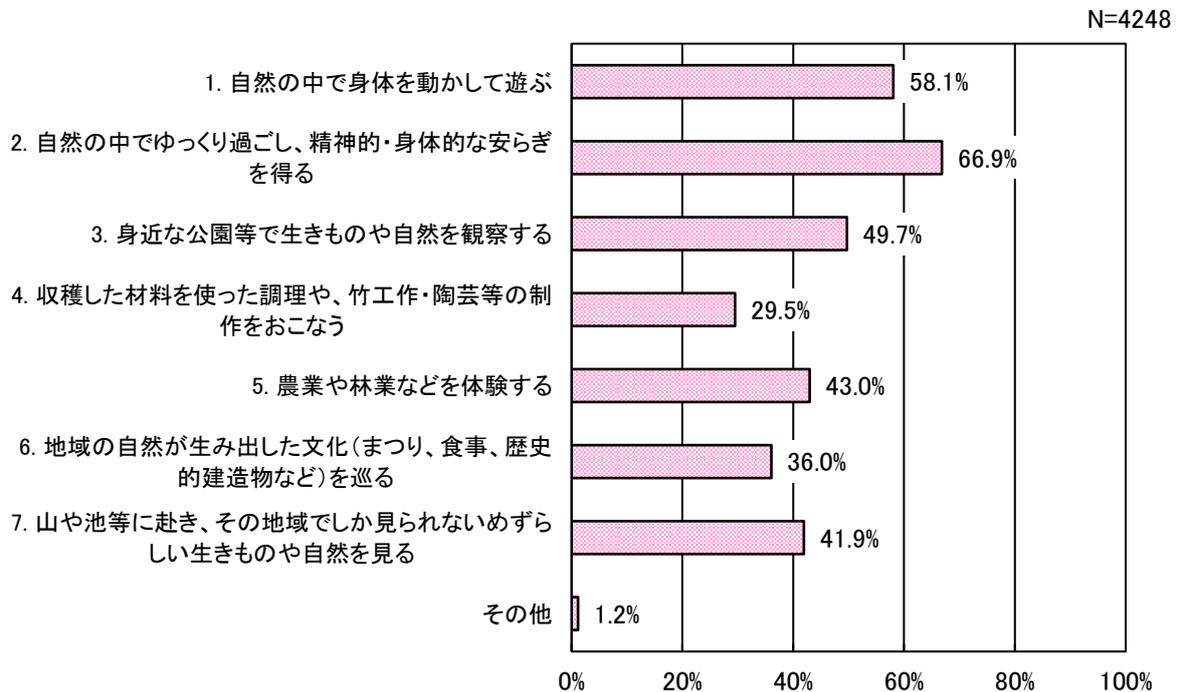
市民、企業、団体、自治体等によって生物多様性が保全されている区域を環境省が認定する仕組み

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

その他

- ・保全活動をいつどこでしているのか知らないので、広報活動に力を入れてほしいです。
- ・近くの公園の管理を手伝いたいと思いますが、活動時間が固定されており参加できません。月によって曜日時間を変えるなど参加しやすいように指導してほしいです。
- ・フルタイムで仕事をしていると、休日にわざわざ調べてまで参加しようと思いません。簡単に参加できるしくみと、いつどんな活動をするのか、目につくようお知らせしてほしいです。
- ・初心者向けの活動があれば参加しやすくなると思います。
- ・小中学校の活動の中で授業として実施できると、多くのメリットがあると考えます。

問6 あなた自身や次の世代にとってどのような自然体験が大切だと思いますか。



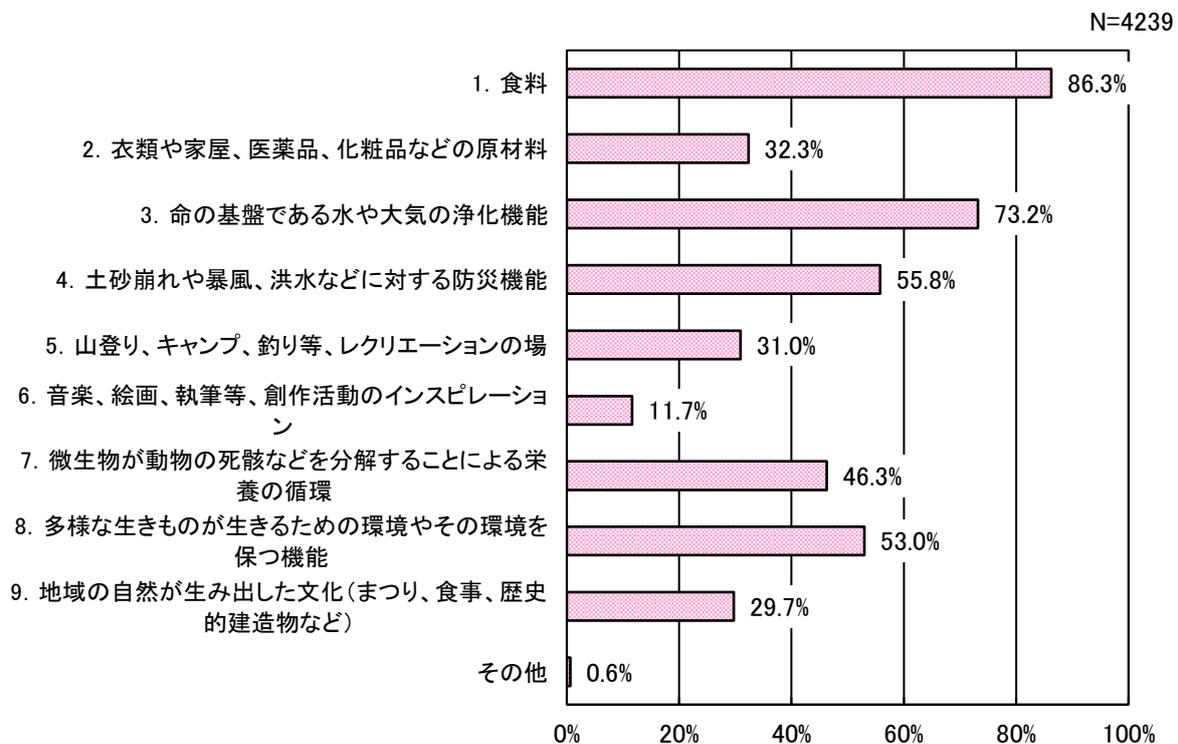
その他

- ・学校と連携する
- ・自然そのものを体験したりや見るにあたり、マナーをもっと教育するべきだと思います。
- ・里や河原や浜で安全に遊べる環境があれば良いと思います。気軽に釣りや散歩も出来ない海辺っておかしいです。
- ・自然体験だけにとどまらず、一度の体験で歴史や文化までセットで学べるようにして欲

しいです。

- ・自然がまだ残っている区域に単に遊びに行くだけではなく、同時に人が環境を破壊していることを知ることが大切だと思います。
- ・自然は必ず変化するものであり、今見ている景色が続く訳ではないことを経験出来るとういと思います。
- ・地元の方と一緒に作業をしたり、食事をしながら交流したりすることができたのがとても良かったです。
- ・農林、漁業への助成、就業体験などを通じて、職業としての魅力を高める。

問7 私たちの生活は、自然や生きものから得られるいろいろな自然のめぐみ（自然から得られる恩恵や資源など）で成り立っています。あなたが大切に思う自然のめぐみを教えてください。



その他

- ・自然を基礎にした昔からの生活の仕組みをちゃんと理解できる教育が必要だと思います。
- ・自然の何が危険で何が危険でないかを体験し、考え、実感のある人が増える事。
- ・豊かな海は森が作る事
- ・農業や果樹園などの仕事をする人が減っていることが問題だと思います。

問8 神戸市の生物多様性への取組みについてご意見がありましたら自由にお聞かせください。

1. 市の取組みの認知度向上

- ・市が生物多様性のために行っている活動を全く知りませんでした。
- ・SNS や街中の案内板などで積極的な広報をして、市の取組みを知らせてほしいです。

2. 自然保護と開発のバランス

- ・自然を大切に作るなら、まず太陽光パネルや風力発電で今ある自然環境を破壊するのをやめるのが先決だと思います。
- ・無闇に森林を切り開くようなことが、あってはならないと思います。

3. 市民参加と教育

- ・市民も巻き込んで活発に実施すべきと思います。
- ・気軽に参加できるイベントや展示などがあると嬉しいです。
- ・生物多様性について、幼稚園年長くらいから義務教育終了くらいまでの期間、年齢に応じた学べるカリキュラムの整備などを検討してほしいです。

4. 外来種の駆除と管理

- ・外来種の駆除に力を入れて取り組んで貰いたいです。
- ・捕まえたらクーポンや商品券などの、達成感の味わるものがあれば、家族みんなで参加できて楽しくできると思います。
- ・外来種の命を取らなくても共存できる知恵や施設一般の方が参加しやすい外来種講義などがあればいいと思います。

5. 自然体験と地域活動

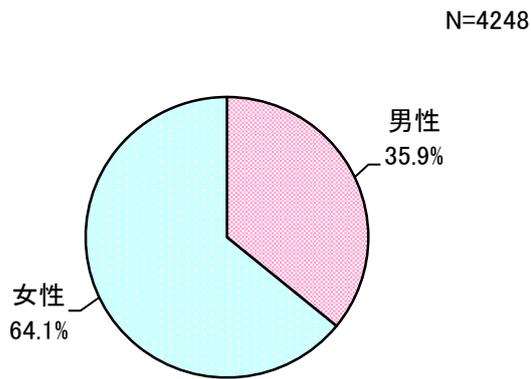
- ・自然の中で遊ぶことができにくくなって来ているので、遊びから学ぶことを推奨した方が良くと思います。
- ・地域で放置竹林の整備が出来ると防犯対策になるのではないのでしょうか。

6. その他の意見

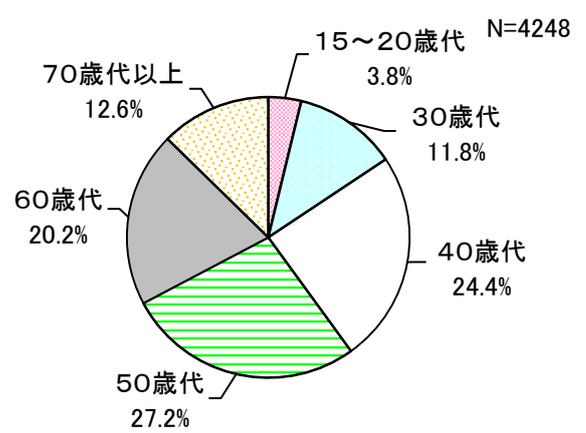
- ・釣った外来種をリリースしないために、外来種の魚を釣ったら引き受けてくれる協力店があり、協力店も釣った人もメリットがあるような仕組みがほしいです。
- ・外来生物のクビアカツヤカミキリの駆除のために、地域の住民を巻き込んで協働作業をどんどん推進して欲しいです。

全 564 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

【性別】



【年代】



【区】

